

配偶者を亡くして一年日記

(3)

団 士郎

妻が亡くなって一年半。一人暮らしが一年半になったということだ。生活の基本パターンは、仕事場と自宅、半々ぐらいの滞在率で、单身なのにニカ所の維持管理は効率的でないと言えそうだ。しかしこの時期、自宅に引きこもってしまったりしないように、通勤設定してあるのは良いように思う。一時は撤収も考えたが、当分はこのままいくことにした。

有り難いことに仕事が途切れずあるので、退屈している暇はない。コロナ禍でも新たに zoom 連続講座が始まったし、トークライブもあり、日々なんやかや埋まっていく。好きでやっていることだからストレスもなく、準備にいろいろ思案するのが楽しい。そうしていると、やっぱり新たなことを思いつく。それが面白くてやめられない。

2021/2/15

昨秋、作ってもらった私のホームページ、「士郎さん.com」に連載中のコラムが20回目を迎えた。八百字程度のものを毎週一本書き続けるノルマを課して進行中だ。すると他のアイデアが次々出てくる。何かをし続けることが、他の企画を呼び起こしてくれる。じっくり考え、満を持していると歳だけとる。



2/16

今日と明日の二日間、立命館大学茨木キャンパスで家族理解ワークショップと題したプログ

ラム。学部生と院生が半分ずつで二十五名参加。私は楽しく話しているし、受講生も合間に質問に来てくれて、よく聞けている。いい気分で、帰路の車中。読み続けている池波正太郎「剣客商売」第十二巻。



気まぐれでスロークッカーなるものを通販で買った。2710 円、安っ！アイリスオーヤマだって。昨日、冷蔵庫に白菜が四分の一残っていて、にんじんの残りと、豚肉があったのでスープを作ることにした。さっと調理して、あとはこれに入れて一晩。昨日の味見より遥かに美味。80度でコトコト。



2/17

雪か…天気予報通りだな…いろんなところで
呟いてるんだろうなあと思いながら出発。立命
館 WS の2日目へ。雪道途上で折りたたみ傘
が壊れるハプニング。

大昔、スコールのタイ・アユタヤで同じ経験
があったことを思い出す。まあ落ち着いて対応。
槍が降っているわけではないからね。



2/18

WS や講座で家族の構造理論の実用性を話
している。そして相談室では、実際のケースが
境界、サブシステム、パワーの特徴的偏りで
問題、症状を現しているのを実感する。多くの
場合、そこに変化の着手点が見えている。出

来ることはあるのだから、悩みとして飲み込んで
しまわなくてもいい。

夜は家族事例検討会のコロナ期間中のス
ピンオフ zoom 会。最近の自分の周りの話題
から八人が発言して、それぞれに思うことを語
った。世の中では、自分のいない場所で、
様々な興味深いことが起きている。いくつにな
っても、そうかあ…と思うことが溢れている。
zoom は面白い。

2/19

昨日の深夜、結果は知っていたが全編が見た
くなって大型TVの前に。ファーストサーブが入
らない、ダブルフォールトが重なる。そんな中
なのに、苦戦しているとは見えない強さに驚く。
一挙手一投足に意思がほとばしっていた。もう
一つの準決勝を見たら、こちらは昔から馴染
みの女子テニスだった。



2/20

東日本大震災家族応援プロジェクト2020の締
めくくり一日シンポジウム。

その中で映画「飯館村に帰る」を見た。素晴ら
しい。登場人物がみんな美しい。飯館村に戻
った年配の住民。その人たちの語りと姿に持
っていかれた。どういう映像と編集に真実が宿
るか。学ぶところが大きかった。



2/21

30年ぶりに自治会の本部役員を引き受けることになった。この住宅地の創立期に新自治会発足や自治会館建設に関わった。その記録を広報係として5年ほど担っていたことがある。久々だったが、会長は立候補があり、私も広報担当副会長に立候補した。他の役員もさっさと決まり新年度からスタート。



2/21

Twitter社から、記念日ですと知らせが。そうだ、2011年のこの日からツイートをしたの

だ。10年でツイート数7332だそうだ。1日ほぼ二通。途切れることもなく3653日。あとどれくらい続けられるのか分からないし、そもそも今何かが見えているのか、いないのかも分からない。

2/23

30年以上も続けている京都国際社会福祉センターの2021年度プログラムが届いた。2020年度は家族療法のメニューも中止したものが多かったが、さあ、21年度はどうだろう。集ってみんなで学び合う楽しさを改めて思うことが多かったコロナ禍。だが、学び方、働き方に選択肢が登場したのは事実だ。



2/23

お知らせです。恒例のぼむ漫画展。一ヶ月後です。毎年同じ場所で、去年もコロナのはしりの頃にやったのですが、今年もやります。私は多分、また、木陰の物語の新しい掛け軸を三つ作ると思います。無理は要りません。出かけてみようと思われたら、どうぞ。

2/24

気持ちのいいものがみたくなった。シリアスなものや複雑なものに嫌気が。事件の起きない人々の物語に渴いていたのだろう。ストレッチに行っ、髪を切って、ドトールでzoom講座次のパワポの準備をしてから観た。中華が食

べたくなったが、20 時で店は閉まる。駆け込みでラーメン屋に。



2/25

保健師のための児童虐待予防研修なるもので話すために出発。この問題については、マイナーな見方をしているので、誰が、何を話せと呼んでくれたのか、少し疑問。思うところを話すつもりだが、全体の流れを見て、浮いてないか？とは思ふ。

大阪から戻る道中、冷蔵庫野菜室に一本残っている大根を食べてと思った。よお〜し和食だ、今夜は。駅前のスーパーで手羽中を買ってきて、いろいろやって、最後には例のスロークッカーに入れてある。大根がおいしいなあ、ドンドンすすむ。明日も食べられるぞ。



2/26

遠来の友人と食事しながら歓談。でも、緊急事態宣言下で、店は 20 時まで。カフェも 20 時までの営業ばかり。お店やってる人、みんな大変だな。

2/27

今日届いた季刊「かぞくのじかん」。木陰の物語 二話が掲載されている。連載も 6 年目。



こんな告知も載っている。好評で満員御礼とのことで第2回目である。さらに右下に新刊本のPRも。この本、ちょっと洒落た造りになっています。近々、しっかりお知らせします。

2/28

茄子料理を朝のうちに仕込んでおいた。正午から八時間、立命館博士課程の人達の研究進展を面白く聞いた。議論を聞いていて、気づく事が多々。終了後の夕飯は、少し煮込みすぎたか茄子はトロトロ気味。でも美味しい。レシピを見てやれば誰でもできるのが凄いなあ。



3/1 朝、待望の新刊が届いた。淡いブルーの上品な一冊。この本はフランス綴じの造本にして貰った。シリーズ「新潮クレストブックス」の造本が昔から好きで、今回何か希望がありますかと問われた時、そう話した。通常の1.5倍くらいコストがかかったとか。でも、嬉しい。どうぞ手にとって気付いてご覧下さい。



奈良県エリアからのこんな情報も届く。お近くなら、ゆっくり、大きなカラーパネル版木陰の物語をお楽しみください。

子どもが健やかに育つことを願って開催

第5回
団士郎家族漫画展・講演会
～子ども・子育て・家族を応援する～

会場：広陵町立図書館
主催：NPO法人 家族・子育てを応援する会
後援：広陵町教育委員会

家族漫画展
(参加者の声) 素朴なタッチの絵と本当に心の中まで描き込んでくるような言葉。自分が経験・体験したことが思い出され、感動しました。ありがとうございました。

展示ホールにて
令和3年3月13日(土)～3月27日(土)
9:30～17:00 (休館日を除く、最終日は正午まで)
◆多くの家族と関わってきた団士郎氏が、実話をもとに描いた家族漫画のパネル展示です。

団士郎講演会
(参加者の声) 自分自身のことを考えさせられる対話でした。

視聴覚室にて
令和3年3月21日(日)
開場14:30 講演15:00～16:30
題：「『木陰の物語』の物語2021」 団士郎氏

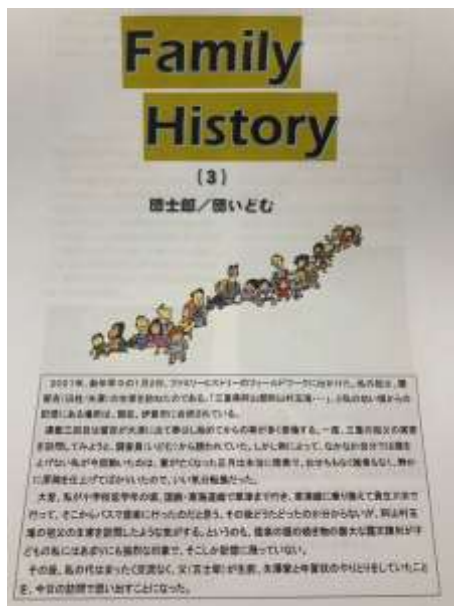
◆定員 25名(先着順) ◆託児あり定員5名(3歳以上の就学前児童)
◆講演会申し込み受付開始3月6日(土)から ◆入場無料

【団士郎講演会申し込み先・家族漫画展問い合わせ先】
NPO法人家族・子育てを応援する会事務局(新谷真貴子)
TEL 050-3136-6268 E koryo.kosodate@gmail.com

○YouTubeで「団士郎」を検索すると、「木陰の物語」がアニメーションでご覧になれます
ご来場の皆さまに、「木陰の物語」の冊子をプレゼントします。(冊子に限りがあります)
◆家族漫画展も団士郎講演会も、コロナ対策をして開催します。ご来場をお待ちしています。

3/2

頼まれた本の扉イラスト 25 枚を完成して出版社に送った。対人援助学マガジン 44 号の連載 family history を仕上げた。執筆者五十人あまりの連載原稿もほぼ出揃った。今月下旬のぼむ漫画展の掛け軸製作段取りの手配をした。雑誌連載用「木陰の物語」の新作の下描きまでが済んだ。することが一杯。



3/3 朝から2件の宅配便を受け取り、集金の対応もした。まだもう一件の受け取りがある予定だ。この待機時間のようなところで、木陰の物語新作のペン入れから完成までの作業をする。計画通り捗る快感。合間にはこんなものを作って食べる。



3/3 夜中にYouTubeで「ホテルカリフォルニア ライヴ アコースティック」に出くわす。曲に張り付いた、必ずの記憶が想起される。

体調不良でベッドに寝ていたバルセロナの安宿。地下の排気口から気持ち悪くなるような料理の匂いと共に、あの旋律が繰り返し聴こえてきた。妻と二人でバックパッカーの頃。



3/4 毎日のように本が届く。注文するからだが、それにしても来るたびに楽しみだ。なかなか読みきれるものではないが、それでも本を手にするのが楽しい。水木しげるの漫画とフランスのバンドデシネ。題材の切り取り方から、本当に多種多様なあこの世界は！と思わせてくれる。楽しみだ。



3/5 昨日の相談室は珍しく新規のケースが二件あった。その両方に強い既視感があった。だからどうすればいいのか、おおよそ見当がつく。実際うまいかどうかは人それぞれだが、長年やってきたからのことだろう。

ちょっと時間があつたのでルネ・クレマン監督の「雨の訪問者」を観た。1970年公開作。



3/5

六回継続の第五回目 zoom 版家族理解講座。参加者の評判も良く(勝手にそう思っているだけではないらしい)従って私も気分良く快調に話す。当然、脱線気味の与太話も段々慣れてきて、そこそこ呼吸も承知してもらえていると思って進める。夏には第二回目のシリーズも開催決定。早々と参加予約も。



3/7 なぜこれを手にしたのか、注文した時の記憶がない。しかし読み始めてまだ僅かだが、とても心が動かされる。ブルガリアの熊使いの話に掴まれた。社会体制の崩壊で職を失い、動物愛護の観点から家業伝統芸能の手段を奪われた。それでも自己責任で生きろと言われる男。世の中はそういうものなのか？



3/8 WEB 版対人援助学マガジン 44 号の編集をして過ごす。六十人近い執筆者の枠作りだけでも、なかなかの手間だ。内容や校正は筆者にお任せだから、いわゆる編集者とは違う。連載の場を提供し、キチンと定期発行する

のが任務の発行人だ。今号は 342 ページ、なかなかのボリューム。3 月 15 日アップします。



3/9 大型書店に出向くのは、知らない本と出くわすためだ。知っているものは Amazon の方が手間がいない。ローラン デュリュウなんて知らない。でも、大判のポスターアート集「幻影」が素晴らしい。自分ももう少し、頑張っ



3/9

初めて zoom の世話役になって、漫画集団ぼむのミーティングをした。私がみんなを招待し

たのだ。初めての人が半分以上の第一回。平均年齢 70 歳がみんな無事参加、会話できたことを喜びたい。今月下旬の漫画展の打ち合わせが中心議題。いい感じだったねえ。



3/10

また列車で旅がしたいな—と思っているのだろう。書店でこういう見知らぬ本に手が伸びる。ヨーロッパ大陸を列車であちこち、意味もなく散策するのが私の趣味だ。だいがあちこち出かけた。今行ってみたいのはコペンハーゲンから北ドイツの海岸沿いをバルト三国へ。何日かかるかな。



ぼむ漫画展の準備は済んだ。期間中、午後 1 時過ぎからからは会場にしようと思っています。お時間があればいらしてください。メール、メッセージなどで事前に知らせていただけると、なお有難い。混雑はしない予定なので、マスク

越しに歓談しましょう。



3/11

朝から相談室は 10 年継続のケースと初回の人の二件。午後からは古い友人が弁当、茶菓子持参で来訪。ここでも、長い関わりの人々が話題に。夜は zoom で、東北に 10 年通い続けたことを総括する出版物の企画検討。めったにこんなに働かないので、夕刻、眠くなる。春だな。



3/13

これ何に見えますか？仕事場の近所のレストランの名物らしい。全く知らなかったのだが、偶然食べログの記事を見た。そこで昨日の夕方、行ってみた。これ、チキンライス。中にご飯が入っている。パリパリの皮が美味しい。こんなの初めて食べたなあ。



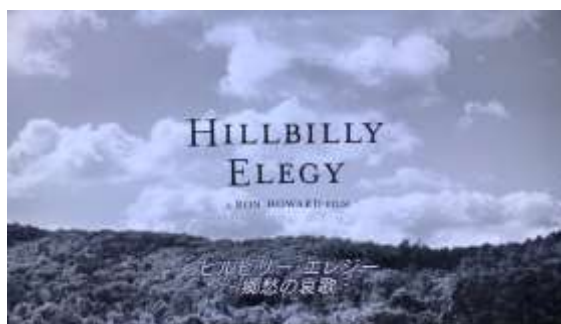
3/14

昨年中に出る予定が難産の中国語版木陰の物語。上下巻刊行予定だったのが、四冊に分けて出るとか。やっとその第一巻のゲラが届く。全く読めないから、お任せするしかないが、なんだか可愛く仕上がっている。ようやくここまでできたかあ。



3/14

数年前、面白そうだと思って購入した本が、読み続けられなかった。Netflix でその映画を発見した。多分面白いだろと思って見始めたが全くその通りだった。トランプが大統領に選ばれた頃、ラストベルトの白人貧困層のことがよく話題になっていた。薄っぺらいだけではない貧困とそこからの脱出。



3/15

期日通りに出ました。周りの方にもお知らせください。対人援助学マガジンの新刊第44号がアップされました。お好みのものからご覧ください。執筆者短信を見ていただくと、どのような人たちが書いているのか、どんなことが起きているのかが垣間見えたりします。



3/16

何が起きたからと言って、考えられないとか想定外とか思う事はない。むしろ、おおこれだったかと思う。昨日アップされたマガジン第44号を見て新執筆者からメールがあった。新連載予定だった原稿が落ちていた。あまりにも早く原稿を下さっていた事が仇になった。謝罪して次号スタートにして頂いた。

3/16

kindle でこれをみて、アルアル！と笑っている。俺は独身女子か？



3/17

こんな書評が「本の雑誌」4月号に。ソ連が崩壊した時、ロシア人男性の平均寿命が60歳を割り込んだなんて話を目にした記憶があるが、今度はアメリカか。次は日本だという話は10年後に現れるのかな？それはともかく、身体も社会の中にあるということだ。



3/17

久々に高い本を kindle で購入して読み始めた。面白い。年収の下がり続けている日本。若者の未来が透けてくる。



3/17

世話をしてるわけでもないのに、こんなに花が。春なんだねえ。今日のお昼は大根と鶏肉のコーラ煮を昨夜からスロークッカーで作っておいたのを食べた。週末の広陵町の講演用の新たなパワボもできた。今年、久々に花粉の気配を少々感じる。で、夜は仕事場に。



3/19

zoom 講座全六回が無事終了。20 時 30 分から 22 時までの設定や、見逃した人はアーカイブスで追っかけ視聴できるのが良かったのか、次は 7 月スタート。その次は 2022 年 1 月スタートと決まっている。ありがたし。開講前に息子と風月でお好み焼き、焼きそば、そしてジャンボコーラで景気付け。



3/20

どこの国かなと思うような店前の雰囲気。無論どこにも行けない今、京都駅前だ。四時間のフォスタリング講座講師に出かけて zoom の形で実施後、スタッフの皆さんと食事。いろ

んなことにコロナによる変化の影響が。それでも楽しい事があり、毎日あれこれ対応。



3/20

カバーが魅力的で手にした未知の本。少し読んで、仰天、爆笑。教員夫婦に子供が産まれてしばらくしたある夜。妻がおもむろに夫に言う。「つまんないと思わへん？あと 30 年もこんな人生を二人でやっていくの。この家に公務員二人はいらん。あんた先生やめて、いばらの道を行って！」、そして写真家に。



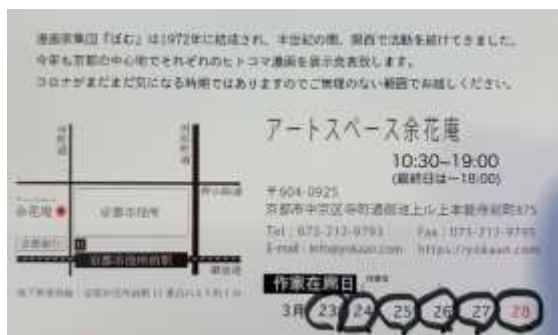
3/22

今朝、五人目の孫が生まれた。末娘が遅い初産で授かった子だ。それは同時に昨年夏亡くなった妻が、病床にも葬儀にも、来ることを禁じて妊娠初期の安全を最優先させた結果でもある。「娘として会いに来ることよりも、お母さんになることを選びなさい」と、リモートで戒め続けた覚悟が実った。



3/22

三日連続で講演を終えて、今日はぼむ漫画展の搬入に。明日から、たいいてい午後二時以降は在廊しますが、いらっしやる時にはご連絡いただけると嬉しいです。



3/23

青山文平?、「妻をめとらばを」、MBSの西靖さんの賛辞を見て、沖縄の書店で買って読んだなあ。「泳ぐ者」が評判だが、その前の「半席」を読んでいない。折角だからと古書で求めて読み始めたら止まらずグイグイ。短編集で重複の欠陥もあるが、良さが満々。長編新刊も楽しみ。人の行為にはわけがある。



3/23 さあ、ぼむ展がスタート。



3/24

春だなあと嬉しくなった一日。久しぶりの友がやってきた。60 年も前から、ずっと一緒だった。長寿社会になって、思い出の数が半端なくなった。でも、生きてればまだまだ重なっていくものもある。会場に詰めていると、いろんな時代の人々が訪ねてきてくれる。あり難き幸せだ。



3/25

初日から毎日、いろんな人が来てくださる。時節柄お知らせは積極的にはしていないのだが、嬉しいことだ。ここ数年、「木陰の物語」の掛け軸展示を続けている。展示してあるのをしみじみ見てみると、中にはこの絵！なかなか良いじゃないかと思ったりする。普段は描いたらもう次のことを考えているから。



3/26

ギャラリーは来客の波がふた山ほど。出来ればゆっくりお話ししたいと思って、あちらとこちらを繋ぐ。そうしている内、もう週末を残すだけになった。コロナの心配も人それぞれ。慎重にこしたことはないので、無理のない範囲で。今日の私のお客さん、70 代三人、40 代一人、30 代一人、他？



3/27

二時前から七時まで。十人の友人、知人が途切れず来廊。八割が約束しての来訪。嬉しく疲れた。例によって七十代から三十代までの各年代の男女。撮った写真を送ってもらってから、自分でも撮っておけばよかったと気付く。あまり撮影には意欲がないのかも。



3/28

日曜日、朝から地域自治会役員の引き継ぎ打ち合わせに。ニュースを作るので前年度のデ

一タを受け取る。30 年近く前に数年関わった地域の今を知る。変化は必然だが、相変わらずなことも多いようで、地域社会のあり方がよくなったとは言えない。出来ることをする。そのあとはマンガ展最終日へ。

3/28

最終日、ゆっくり話し込めた方もあってフィナーレ。片付けでしたら早い早い。開催中、思いがけず新刊が十八冊も売れた。家族の練習問題 1-8 の大人買いも。ありがたし。今年は自分の予測を遥かに超えた来廊者があった。おそらく続いていこうぼむマンガ展。これからよろしく。



3/29

展覧会明けは、一人で楽しむ休日。この二本を劇場で観た。湿った国と乾いた国で、歳とってゆくことを考える。私は比較的強い人間だと思うが、それでも「ノマドランド」では、厳しいなあと思う。共に大事件が起きる映画ではないから、余計、我が身に迫ってくる。



3/30

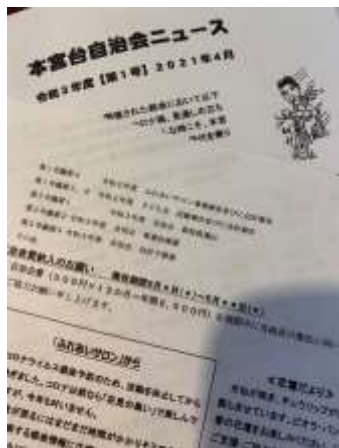
確定申告の書類を義弟の税理士宛発送。届いた宅配便は落ち葉掃除機。綺麗なんだけど、落花し続けて、ご近所まで飛ばされていく木蓮の掃除をする。この半年、ほぼ初めての作業メニューが半端ない。その結果生活全体が立体化している。パートワークからトータルワークだ。ノマドランドが沁みる。



3/31

地域の自治会役員をすることになって、ニュースを作成。30 年ぶりのお役目だ。毎月の「木陰の物語」連載 254 話の下書きも完了した。ここで移動して、次の段取りに入る。その

前に、昨夜仕込んでおいたカレーを食す。美味しい。ほんとこの安価な調理器具くんは、偉儀に働いてくれるなあ。



3/31

いいタイミングで時間が取れたので映画館に。しかし去年の「パラサイト」もそうだったが、アカデミー賞と聞いても、どうも、好みではない。自分が映画に何を観たいかが、時代と私の間でずれてきているのかなあ。合わせてもしょうがないしねえ。



4/1

毎月の新作マンガが完成したので、夜中はシネマ三昧。町山映画情報から Netflix の「ハーフ オブ イット」を観た。こういうものが観たか

ったんだ！と思わせてくれる。そして、頭の中は、いくつになっても青春なのだった。



4/2

完成したニュースを自治会館のコピー機で全戸分印刷。ところが途中でトナー切れに。滅多にないことがなぜ今！

初めて使うプリンタのカートリッジ交換。外は桜が散り始めて道路には花びらが舞って、きれいだ。だが自宅前の木蓮の花弁は黙々と拾い集める。同じ花なのに。



4/3

木陰の物語 第 254 話が完成したので編集者に送信。毎日一つ、仕事を完了させていく日々が続いている。前週はぼむ展で、たくさんの人にお目にかかったが、今週はほぼ一人で、次々と課題をこなした。メールや SNS で新たな用件が届く。インプット、アウトプットのバランスもまあまあだな。



4/3

映画三昧。「シカゴ 7」裁判は町山解説があつて、時代背景が確認でき、余計興味深くなった。我らの時代のアメリカ、元気なアメリカの話。「レッドドラゴン」は豪華俳優勢揃いだ。この前に、もっと手軽に刑事グラハムのタイトルで映画化されていて、それを追いかけて京都みなみ会館まで観に行ったのだった。



4/4

「白木蓮はきれいに散らない」、ここしばらくずっと思っていたことがタイトルだったので Amazon でポチリ。すぐに届いて面白く感心して読了。私には描けない話。宅配で文旦をいただく。香りが凄い。早速食べよ。



4/5

ホームページの連載コラム、第二シリーズがこんな風に始まっています。第一シリーズ二十五回に次いで、自作マンガ集 *ine my own way* を題材にしたものです。お時間のある時にご覧ください。(＊これは続かなかった)



働く者にとって、それほど良い時代になったわけでもないのに、労働運動はすっかり下火だ。何があっても声もあげられず、内に籠もってしまって自死や鬱病に至ってしまう人が少なくない。雇用環境は大幅な非正規化が進み、賃金は世界でも希な低所得化が継続中と聞く。それでもけなげに努力を重ねる。

4/7

長男が来てくれて、早朝からレンタカーで、相続書類集め旅に。宇治市、京都市、福知山市を巡回。私が現住所を本籍にする主義だったツケである。妻が生まれてからの戸籍を、うち銀行の為に全て用意しなくてはならなかった。郵送でも可能だが、1日で片付けるならこれ。やっと大体の手続きが終わったかな。



4/8

19時から私が世話役で招待してのまんが集団ぼむ第二回 zoom 会。なのに、ウトウトして遅れた。誰も入れず、右往左往。

いやいや申し訳ない。でも、特に用件があるわけではないし、みんなも慣れてないから、それが治って、時間勘違いの人も入って揃ったのは一時間後。何の支障もない。



4/9

朝、髪を切りに。白くなったなあと思う道すがらの京都。午後から教え子妊婦が来訪。大きなお腹は未来だ。夜は次男が来訪するので、早めに帰宅。お茶しながらよもやま話。自分のすることを、自分で決めることの人生における

大切さを楽しく語り合う。四十代半ばになっても、息子は息子である。

4/10

誰かの SNS で見かけて amazon でポチったのだった。書店でこの類のものに目がいかなくなって久しい。漫画が半分くらい。風呂読書にはちょうどいい。ほぼ同じことをしていると思える記述があちこちにある。面接による援助展開をおさらいしているような気分。



4/10

R.レッドフォードと J.フォンダ。こんな組み合わせなんて、いかにも懐かしいものを深夜に観た。でも、Netflix 新作。大きなことではなく、ささやかなことが心を捉えて離してくれない。過去のない人はいないのだからとは言うが。頑固さも自由も、歳と共に選べるはず。貴方はどうしますか？



4/10

一月に読み始めたコミックス版の第二巻。やっと読み終えた。読みにくいのではない。多分、文章の本とは異なる伝わり方があるのだと思う。ウクライナ、ベラルーシは、40 年余り後、チェルノブイリ原発事故で、また登場することになる地名だ。



4/11

朝、家族面接を見に KISWEC に。その後、メンバーとランチしながら、四方山話。語ると更にイメージが膨らむので、一人ぶつぶつ言ってるより、ずっといい。ただし、その時の発言を記憶していないのが決定的欠落。同じことを何度も言ってるのかも。今日もいいアイデアがあったはずだが。

4/12

コロナ禍の行方はまだ見えない。そんな中でも年間スケジュールは埋まっていくので、一番空いているのが今年も4月だった。三、四日の行程で旅に行くとか、孫の顔を見に行くとか、ちょっと考えはしたが全てやめた。人生の終盤に、不自由なことだ。

4/13

ZOOM で単発の講演を二時間。馴染みのある方の依頼だったので受けた。1 日に一仕事の約束があると、リズムが出て良いのかなあ。

あんまりゆっくりしていても楽しくない。自宅と仕事場の行き来も活性化材料なので、当分、仕事場も維持する。どちらに泊まって、どう食事を段取るかが日課。



4/14

あきれた大発見。仕事場のダイニングキッチン。床が雑然としているのはいいのだ。で、昨夜、あれ？あそこって収納棚だよな。何を入れてたっけ？心当たりないなあと思って開けてみた。左右とも見事に空っぽ。八年間、ここが収納だと気付いていなかったらしい。そんなバカなことってあるかなあ。



4/15

朝は家族面接。午後、自宅に戻って、相続手続きのいよいよ最終段階を長男のサポートで完了。なんか疲れて、一寝入りした後、19 時から zoom ミーティングを二時間。そして作り置きビーフシチューで夕飯。やれやれ一日

終えたところで、明日は予定がないので夜更かし映画でも楽しもうかな。



4/16

今朝、Netflix でこの映画を観た。ビートルズは高校時代の記憶の背景そのものだ。でも音楽人間ではない私は、そんなに得意げには語れない。思い出はいっぱいあるし、初期のものは今でも歌える。英語の成績はさっぱりだったのに。映像を見ながら 60 年近くも前の出来事が次々浮かんで消える。



4/17

午後、久しぶりに旧友K君が来た。夢中で話してたら五時間近く経ってたので夕飯に仕事場近くの店に。左下のコロッケは追加だが、他はおばんざい定食で 880 円。お酒も飲めるが飲み屋じゃないので私もしばしば通う。時節柄、アクリル板が立っていた。食後、仕事場に戻ってまた話の続き。楽しい。



4/20

まあなんと読書の幸せが満ちてくることか。本を手取るだけで、おやつ？と思わせる装丁。静かな華やぎを感じる。そして読み進めながら、あらわれる人々それぞれの懐、奥行きに感服する。来し方に抱えているものが何もない者などない。それが人を深くするのだということか。



4/21

「在りし日の歌」。聞いたこともない wowow 録画の映画だった。三時間越えの中国映画。なんだか勤が働いた。そして、今年一番！と大きくなずいて見終えた。一人っ子政策の中、その子を亡くした夫婦の 30 年の物語。私にとって、この時期に観たのが、更に良かったのかもしれないと思った。



4/22

そうか！と気付いた。2011 年から昨年まで、年初から 5 月頃までは毎年、東日本家族応援プロジェクトのために「木陰の物語」のパネル用カラー版作りに精出していた。それを10年で一区切りして、制作ノルマがなくなった。では今年、その時間で何が出来たかと考えると、特になし。決めて何かに取り組まないと、ゆとり時間は霧散する？

4/23

溜まりに溜まった録画のブルーレイディスク。観なくちゃ話にならないが、時間が要る。日々、隙間を見つけてはせっせとこなす。今日のはゲラゲラとバカバカしいの二本立て。アメリカ！って感じの映画だった。これはゲラゲラ。



帰路、無印良品山科店でクリームソーダ飲み

ながら新作下書きと読書をしていると、石川 WS の世話人 H 君から電話。コロナ禍のまたまた怪しい様子に、でもやりたいので zoom 版は可能かとの問い合わせ。リピーターの多い、長年やってる石川プログラムだから延期ばかりでは面白くない。zoom で考える事になった。

21 時からの対人援助学マガジン読書会。北海道からパリまで、広範囲からの参加で十人。この距離感のなさは zoom の良いとこだな。ちょうどいい人数で、連載中の S 君の文章から引き出される様々な思いを交換。例によって私も色々喋っている。



4/24

朝は地元自治会の役員会。終了すぐに自治会ニュースの作成に。ゴミ問題が中心。午後、次男が所用で来訪。ついでに、持参の分別ゴミ箱をセットしてくれた。1 日ゴミが話題だった。今週、結果的にコロナ禍自粛的に外出しなかったら体重が増えた。嬉しくはない。



4/26

昨日は立命のフィールドワーク人間科学研究会 zoom に参加。正午から六時間半たっぷり楽しむ。今朝一番は、hp士郎さん.com 用の連載コラムを仕上げようとして手こずる。自治会ニュースの原案も書いて会長に送信。合間に kindle 読書。緊急事態宣言に応じて本日は自宅働き。

4/27

専門細分化を皆で持ち上げてきたせいで、世の中全般に目配りの効く人が消えた。細部の正しさを競い、おおむねという世界は誰の担当でもなくなった。政治家は専門家の意見を…と言って、逃れられたと思っている。専門バカという昔からの言葉を知らないのか？ 専門家は使うものなのだ。

4/28

昨日、昼前まで自宅で「ザリガニの鳴くところ」読書。移動して無印良品カフェでランチとお茶しながら新作下描きの完成。緊急事態宣言の京都 ZEST 御池はこの有様。篠原の展覧会を覗いて雑談後、仕事場に。録画の大瀧詠一を見ながら夜中までペン入れ。今回少し難解な話になってしまったかなあ。



4/29

相変わらずスロークッカーを多用している。これはチキンカレーの仕込み。今夜は以前に作

ったビーフカレー。ビーフシチューの作り置きがまだ二食ぐらい冷凍庫にある。GW は時間見つけて、作り置きだな。



4/30

相変わらず、併読三昧の日々。読み終えないもの、なかなか読了にならないものもある。なのに Amazon から届く本は途絶えない。注文するからなのだけど。本日入手した本。すぐ読めるか、積読・待機か、ゆっくり進むか、それは分からない。



5/1

自宅の wifi が繋がらなくなった。なんの変更もしていないから意味がわからない。Netflix も繋がらない。仕方なく BD 録画の映画を見る。「男と女」、ルルーシュのヒット作の 50 年後。同じ役者が昔話のように、昔の映画記憶を語り合う。エンドクレジットが綺麗。

2021.05.03 12:48

6月16日（水）に団士郎オンライントークライブ開催

20年8月、12月、21年2月と過去3回開催され好評を博した団士郎トークライブのvol.4を、6月16日水曜日の20時〜、zoomを利用して開催されます。

過去3回は週末開催でしたが、今回は平日の夜開催になります。当日ライブ視聴が難しい方に向けて、期間限定にて録画配信も行います。移動中に聴いていただいたり、二度目の視聴を楽しんでいただけます。

定員は先着100名、参加費は2,000円です。申込はメールのみ、先着順での受付となります。件名を「トークライブ参加希望」としていただき、

・お名前・電話番号をご記入の上、

kazokurikai@asoblock.net

までメールください。折り返し、3営業日以内に参加案内のメールが届きます。なお、詳細が知りたい方は、チラシをご覧ください。

5/3

不思議な感覚だ。主人公カイアに何も起きるな！と思って頁をめくる。今、180 ページ目。小説なんだから、何も起きなければ話にならんだろうとは思う。でも、できればと思って読む。これって、自分の日常への思いと同じだ。何も起きない人生はないと知りつつ、できれば嫌なことなくと願う。



5/4

昨年、コロナ下のGWは、妻の末期癌判明への日々だった。そして今年は、孫の一人が虫垂炎で入院、手術になった。無事済んだと聞

かされてホッとした。頑張れ！

あらためて何事もなく一年過ぎることなんてないなあと思う。残り時間の見えた歳になっているのだ。出来ることは今しておこう。

5/5

ここしばらく、映画のチョイスが好調だ。

「人生スイッチ」2015年公開の短編6本立なんて、手が伸びない気がして、でも試しに1話だけと見始めたら、どの話も面白い、面白い。小説でも、こんなに満足度の高い短編集はなかなかないなあ。とにかくスイッチが満開。



実はこの写真、孫娘とのツーショットを、次男が撮ってくれたものをトリミングした。女の子のプライバシーは守らないとね。だからこれは、おじいちゃんの顔だ。



5/6

よほど旅がしたいのだなあ。ウォーキングがてら河原町の丸善に出かけて、手にした三冊がこれだ。いつになったら自由に旅に出られるのだろう。ウカウカそんなこと言ってるうちに、自分が時間切れになるぞ。世界のあちこちで紛争が始まっても、同じことだ。対話と相互理解でヨロシク。



5/7

一日仕事場にいと、万歩計のメーターが2桁だったりする。食事は普通にするのだから、これは運動不足だろうと思う。そこで京都散策に出かけた。近くに名所がたくさんある。行ったことのないところをなんとなく選びながら行けるところまで。ここは相国寺。



5/8

熱中していたら、午前5時になっていた。そろそろ眠ろう。「木陰の物語」の国際版を作った。日本語、英語、中国語、韓国語を対訳形式で一冊にしたのだ。

さてこれを読み切れる人は？と考えても思い当たらない。三カ国語いける知人はあるが、四カ国語はどうか？私は日本語しかダメだけど。



5/9

アメリカ文化とフランス文化の対比的語りが、面白いなあと堪能した佳作。観た人の評は★五つから一つまで。その人の人生がよく現れている様で、真面目か！と冷やかしたくなる。ロマンチックでいいじゃないか。チョット残念なところもあるが。原題は「5to9」。この方がスッキリ。



5/10

状況の厳しさは変わらないが、負けずにプランは立てて行く。7月10日、大阪でこんなことをする。去年はやれなかったが、ずいぶん長く継続してきている集いだ。開催できるといいが。関心があったら申し込んでみてください。



5/11

GW 中は動かなかった。そこで昔、映画館の前の座席にプロレスラー(見たいな大柄)が座って、スクリーン中央が全く見えないというトラブルで見損ねた映画を観た。「2001 年宇宙の旅」、私の世代人にとってはエポックメイキングな作品。

映像が素晴らしい。あの時代にこの画面作りは驚きだ。観た後、YouTube で町山智浩の解説を見て、なるほどなるほどと大笑い、喝采した。



5/12

午前中自宅で zoom。午後から出かけようとしたら雨。この頃よく降るなあって気がするけ

ど、どうなのか。夕刻から草津市に出かけて、家族勉強会。コロナ禍のこの時期の雨の夕方から。どうかと思ったが、意外なくらい熱心な参加数。そうそう、今朝の新聞の全面広告、面白かった。



5/13

本日の相談室業務は昨年の受付相談データ入力。年一度のことなので段取りは悪いが、記入しつつ振り返る。家族関係と職場の人間関係が多い。みんな他人に期待しすぎだよね。作業中、電話相談一件。

夕刻、山科の無印カフェで夕飯。なんだか健康志向の女性っぽいメニューだ。この後帰宅して zoom 会合一件。

